

分科会名：「企業活性化研究分科会」設立趣意書

千葉商科大学 太田三郎

1. 分科会設立趣旨

経営環境の変化とあいまって、こんにち様々なリスクが発生し、多くの企業が混迷をきたしている。一昔前までは左程問題にならなかったような事件や不祥事も、当該企業を倒産にまで至らす重大事になりうる時代となった。

企業の大小を問わず、1つのリスク（問題）の発生は社運を左右する可能性が大となる。リスクの荒波を乗り越えて、持続可能な成長を常に遂げることが、わが国経済、企業に求められる最も重要な課題の1つといえる。

本研究会は、企業の健全な発展、維持・存続を図るために、危機管理システム研究学会員を中心とする共同研究などを通じて、事業を取り巻くリスクを科学し、実効性のあるリスクマネジメントを議論、検討し、企業活性化に必要な理論と実践の確立を目指す。

2. 研究会会場、開催曜日と時間

専修大学神田校舎で3月17日、午後1時半より4時半まで開催された。原則として毎月第1もしくは第2土曜日の午後1時半とするが、今後の開催に関しては曜日、時間設定に関して、変更の可能性はある。なお、次回開催は専修大学神田校舎、4月7日（土）午後1時半を予定する。

3. 3月17日、企業活性化研究分科会研究会メンバー参加者（順不同・敬称略）

初期メンバーは太田、山本、井端、飯高、木村、菅原、星野、宮川、渡邊、古山、横山、大野、大柳。

4. 3月17日の分科会にて、本分科会の主査として専修大学助教授 大柳康司氏を選出し、本学会理事候補に推挙することを決定した。